

田代氏に渋沢栄一賞

バローH D
会長兼社長 製造小売業を推進



田代正美氏

優れた経営手腕を発揮し、地域貢献にも尽力している経営者を表彰する埼玉県の「渋沢栄一賞」に、バローホールディングス(H D) 会長兼社長の田代正美氏(71)の受賞が決まった。県内からの選出は3人目。

同賞は、第一国立銀行(現みずほ銀行) など多くの企業の設立、育成に携わりながら社会貢献事業にも尽力した渋沢栄一(1840～1931年) 同県深谷市出身を顕彰し、その精神を受け継ぐ企業活動、社会事業を実践する全国の経営者を毎年表彰している。17回目の今回は田代氏を含む3人が選ばれた。

田代氏はバローに77年入社。79年取締役就任、常務、専務を経て94年に社長、2015年から現職。製造

から流通・販売まで手掛ける「製造小売業」の戦略を推進し、社長就任時から売上高を10倍に拡大した。

創業者で義父の伊藤喜美氏(故人) が設立した伊藤青少年育成奨学会を通じて奨学金支給などを行っており、17年度までに累計10億円を拠出している。多治見商工会議所会頭も務める。

田代氏は「渋沢氏が著書『論語と算盤』で唱えた本質を押さえながら、今後経営をしっかりとやっていきたい」と話した。

表彰式は2月4日、さいたま市内で行われる。